



令和3年11月1日

らいかい恵子 議員便り 236号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

10月に入っても真夏日が続いていましたが季節は正直、急に寒くなりました。コロナ患者も減少し、熊本県も「まん延防止等重点措置」が解除され一安心です。合志市のワクチン接種状況(R3年10月15日現在)は、1回目接種84.5%、2回目接種77.59%です。私たちも安心せず引き続き、マスク・手洗いを心掛けたいですね♡ 来海は、毎月一人で議員便りを8000枚配っています。



名垣眞一副市長にインタビュー キーワード、現場・挑戦・改善！

4月に就任された名垣副市長に、副市長の役目や抱負を伺いました。

プロフィール

氏名 名垣眞一(ながき しんいち)

生年月日 昭和36年1月生

出身 熊本県合志市

(主な歴史)

昭和60年 4月 通商産業省福岡通商産業局入局

平成20年 6月 九州大学大学院工学研究院准教授

平成31年 4月 経済産業省九州経済産業局産業部長

令和 3年 3月 退官

令和 3年 4月 合志市副市長

(その他)

組織学会九州支部例会発表 「地域経済を支える地域中核企業とその効果」



名垣眞一副市長

来海：副市長になられる前の、外から見た合志市の印象は？

名垣：私は、旧西合志町合生(あいおい)の生まれで、大変静かなところで育ちました。このため、外からみた合志市は、まさに「生まれ育った静かな故郷」のイメージしか持ち合わ

せておりませんでした。

来海：副市長になられて、内側から見た合志市の印象は？

名垣：令和3年4月に市役所に入って、印象が変わりました。人口が増えて躍動感があり、成長が著しくビックリしています。入る前と、入ってからのギャップが大きく嬉しい限りです。

来海：ありがとうございます。平成18年に合併して15年、合併当時の人口が52,516人、今年9月末人口が63,527人で11,011人増えてありがとうございます。副市長の役目は、何ですか？

名垣：合志市が持続的に発展するために、荒木市長をしっかりとサポートすることです。

来海：実現するために、具体的な考えをお聞かせください。

名垣：これまで以上に変化する市場や地域ニーズを的確に捉え、これらを原動力として果敢に挑戦していくことが必要であると思われます。

来海：ニーズを捉える事は大切ですね。

名垣：一番大事なのは、現場に職員と足を運んで市民や事業所と向き合い思いを汲み取ることです。経済産業省では、「現場主義・挑戦重視・改善重視」の3つのキーワードがあります。

来海：3つのキーワードが、どのように繋がっていくのですか？

名垣：政策のタネは現場にあります。だからこそ現場に足を運ぶことが重要であり、本質的な課題を見つけだすことができます。その課題の解決には多くの壁が立ちふさがっておりますが、積極果敢に挑戦していく。「前例に倣う（ならう）のではなく、前例になる」。まさに時代にあった改善提案を行っていくことが求められています。

来海：その中の一つが、議会との「政策情報連絡会」ですか？

名垣：今年度から始めた「政策情報連絡会」は、議員と職員双方が地域の現状や課題、課題解決に資する施策情報等を共有し、フランクに意見交換を行い、市政の成長・発展の糧とする場です。若手職員の意識向上や自信に繋げ、「現場主義・挑戦重視・改善重視」を実践していただきたいと考えています。今回はコロナ対策や衆議院選挙の準備でバタバタだったので、私が講師を務めました。



来海：議員も一般質問とは別に、建設的な提案をまとめて職員と意見交換ができると議会

全体のレベルアップになると思います。

名垣：議会も行政も目的は一つ、合志市を良くして市民に幸せになっていただくことです。

まさに、市長が仰る「健幸都市こうし」（体も財政も健康）の実現ですね。

来海：副市長の講義「経済の見方」は、情報が最新データでとても分かりやすかったです。

名垣：ありがとうございます。

将来のあるべき姿「健幸都市こうし」を実現しなければいけません。そのためには、コミュニケーションと人づくりが大事です。先ずは、職員と議会のキャッチボールから始めたいと考えています。

来海：是非、お願いします。

名垣：市長も私も、短いフレーズで市民の心に届く、誰にでも分かる言葉で「そうだね、納得！」と思われるよう努めてまいります。

来海：名目総生産額を上げて、一人当たりの市町村民所得を上げるには、大企業だけでなく、中小企業や農業などをもっと応援する必要がありますね。

1. 合志市経済の概観（体格、体力）

○合志市経済の体（骨）格を示す工業出荷額は、半導体関連産業および輸送機械工業等の事業活動により、約4,000億円規模。熊本県下で第2位に位置し、熊本県全体の14.3%。
*九州11位／233市町村

○経済の体力を示す総生産（付加価値）は、約2,600億円規模、熊本県全体の4.3%。
*付加価値額とは、製品等が生み出した金額（生産額）から、それを生み出すために他の生産者から購入した金額（中間投入額）を引いたもの。平たく言えば、「儲け」。

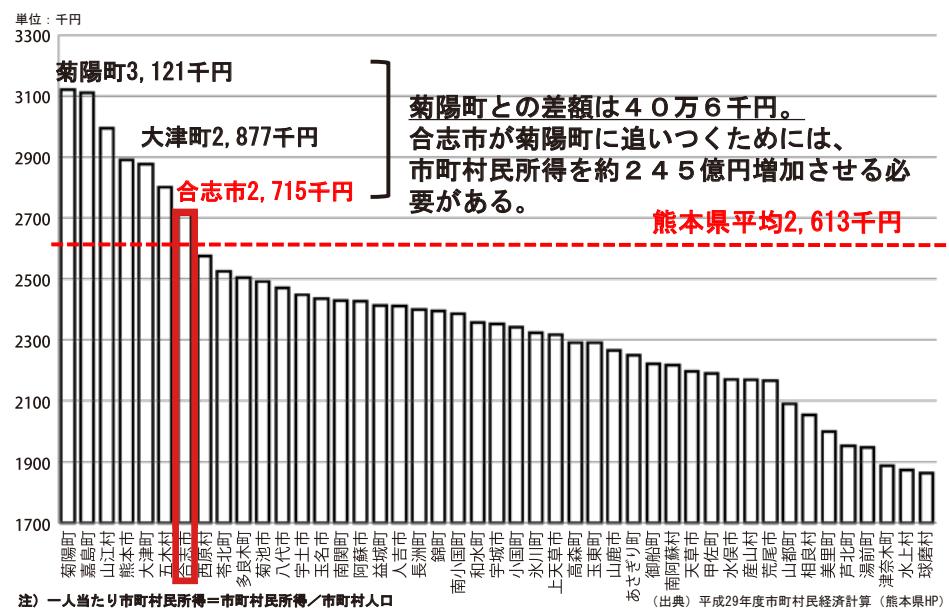
○総生産比は、人口比に比べて高いものの、出荷額比に比べ大幅に少ない。
「付加価値（儲け）を生み出す経済へのシフト」が課題の一つ。

	人口 (万人)	対九州% 対熊本%	出荷額 (億円)	対九州% 対熊本%	名目総生産 (億円)	対九州% 対熊本%
九州	1,307	—	245,252	—	474,453	—
熊本	172.8	13.7	28,451	11.6	61,123	12.9
合志	6.3	3.6	4,059	14.3	2,636	4.3

注) 総生産には、名目値と実質値がある。実質値は、物価変動による影響を除いたもので、その年の財の本当の価値を示すもの。経済成長率は、この実質値を比較したもの。

一人当たりの市町村民所得

○合志市は2,715千円で県下第7位。熊本県平均2,613千円を僅かに上回っている。



名垣：全くその通りだと思います。特定産業(4番バッター)に加えて、今後は、6番、7番バッター等どこからでも得点できる布陣にすることが重要です。すなわち、環境変化のリスクを緩和・最小化していくためは、柔軟さ、しなやかさが鍵であり、バランスある業種と裾野企業の集積こそ、持続的な経済運営の基盤。さらに、産業全体でみれば、製造業のみな

らず、農業等1次産業や3次産業などの「多様な産業の集積」こそ、最も力強いです。

来海：合志市は、農業も盛んです。私も携わったことがあります、農業の6次産業は開発まではいくのですが、その先の販路の拡大の応援が必要だと思います。もちろん、開発する農家の覚悟と努力があつてのことです。

名垣：企業の9割の中小・小規模事業者で、地域を支え雇用を守り、不況下でも日本を支えてきました。しっかりと現場を把握して、地場企業を支えたいという方向は同じなのでビジョン(将来あるべき姿)を共有できるよう努めます。

来海：開発のネックは、50年以上土地の開発を規制する熊本都市計画にあります。合志市は地の利がいいので移転したい企業が、規制がかかっていて他市町村に取られることが多いります。また、菊陽町のゆめタウンのような大型ショッピングセンターがないので、購買したお金の4分の3は他市町に流れます。規制が外れるか、緩くなると、商店の売り上げが伸び、個人所得が上がるのではないか？

名垣：荒木市長が熊本都市圏の首長と一緒に、今年から県と担当者レベルではなく直接話し合われています。「ピンチをチャンス！に」と、脳に汗をかいて知恵を出し頑張ります。

来海：優秀な若い人たちが、起業して頑張っています。ルーロ合志は安い家賃で事務所を貸していますが、それだけでなく多方面で育てていただきたい。今はヒヨコでも、10年後には立派な企業になると信じています。リモートで仕事ができる時代、応援すると口コミで優秀な人材が合志市に移り住むのではないか？

名垣：応援の仕方もいろいろあります。助成金の種類や情報を提供して育みたいです。

来海：経産省での経験や情報量が違いますので、頼もしいです。

名垣：荒木市長をしっかりとサポートして、「健幸都市こうし」実現に頑張ります。

来海：元愛泉保育園の園長で保育コンシェルジュの大久保優子先生は、妹さんとお二人の先生だそうですね。これも、何かの縁ですね。



大久保優子先生

名垣：私も、聞いてビックリしています。(笑)

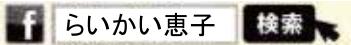
来海：副市長の座右の銘をお聞かせください。

名垣：「一歩」。何事にも始めの踏み出しが大事です。

来海：お忙しい中、ありがとうございました。どうか、合志市をよろしくお願ひします。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com http://raikaikeiko.info/



らいかい恵子

検索

